

令和元年度 政策対話における意見等への対応

観光部山岳高原観光課、国際観光推進室

実施日：9/5（木）

場 所：白馬ハイランドホテル（白馬村）

【観光部：インバウンド推進における受入環境の整備について】

<趣旨>

今後インバウンド需要の一層の増加が見込まれる中、外国人旅行者を快適に受け入れるための環境整備の推進について

政策対話当日の意見	意見等への対応（予算案公表時）
<ul style="list-style-type: none">・小谷エリアは十分な通信環境が整っていないことに加え、ATMも限られているので、外貨の両替を、協会の職員が対応するなど、早期に解決していかないといけない。・村内全域でのWi-Fi環境が悪く、観光地周辺しか繋がらない。・キャッシュレス導入を検討するにしても、高齢の事業者の賛同が得られず、地域を挙げた取組みになりにくい。・キャッシュレスは、事業者の「気持ち次第」であり、こういう地域にしていくという地域全体の取組みが重要。・外国語表記について、統一した基準で進めるべきである。	<p>○県では本年6月に「重点支援広域型DMO」として「HAKUBAVALLEY TOURISM」を指定しました。 「世界から選ばれる山岳観光地域づくり」に向け、ソフト・ハード両面からのスタートアップ支援を実施してまいります。</p> <p>【Wi-Fi、キャッシュレス、外国語表記について】</p> <p>○外国人観光客が増加する中であって、地域で実際に発生している課題について、様々な視点からご意見をいただきました。特に強いご意見のあったWi-Fi、キャッシュレス、多言語対応などの受入環境整備を推進してまいります。</p> <p>○外国語表記については、統一基準となる公共案内標識整備指針を見直しているところであり、関連するガイドライン等とあわせて広く周知するとともに、標識の整備を促進します。</p> <div data-bbox="1104 1059 2092 1230" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【観光地域づくり重点支援事業 20,000千円】</p><ul style="list-style-type: none">・HAKUBAVALLEYエリアの観光地域づくりを進めるため、案内標識整備、Wi-Fi、キャッシュレスなどの受入環境整備や通年型マウンテンリゾートのブランド価値創造などに対する支援</div>

政策対話当日の意見	意見等への対応（予算案公表時）
<ul style="list-style-type: none"> ・一部の外国人旅行者が、屋内で花火をしたり、飲酒して夜大声で騒ぐなどトラブル事案が見受けられる。 ・外国人のスキーのインストラクターの就労ビザを申請してもほとんど認められず、需要が多いにもかかわらず対応に苦慮している。 ・世界級のリゾートを目指すのであれば、スキー場の安全パトロールのレベルを上げるなど安全面に配慮すべきである。 	<p>【マナー向上について】</p> <p>○増加する外国人旅行者への対応として、マナーの向上や安全対策などを地域がどのように取り組んでいくか、地域と共に検討してまいります。</p> <p>【人材の確保・育成について】</p> <p>○スキー関連を含めた人材の確保・育成については、必要に応じて国に要望を行なうとともに、地域がどのように取り組んでいくか、地域と共に検討してまいります。</p>